

ぴゅあ各館事業レポート

平成30年度事業を振り返って

ぴゅあ3館では、平成30年度も男女共同参画を推進するさまざまな事業を開催いたしました。このページでは、その中のほんの一部を振り返ってご紹介します。

■ ぴゅあ総合主催事業

【5月】

男女共同参画ネットワークセミナー基礎講座（3館共催）

『「居場所」のない男、「時間」がない女』

■講師：水無田気流さん（詩人、國學院大學経済学部教授）

男女共同参画を基礎から学び、地域の推進活動につなげていくための講座として、詩人で社会学者でもある水無田気流さんをお迎えし、『「居場所」のない男、「時間」がない女』と題して、現代社会が抱える矛盾やその解決策についてお話いただきました。

日本男性の「関係貧困」と日本女性の「時間貧困」。この二つの「貧困問題」を通して、これからの日本社会をもっと豊かにしていくためのご提言をいただき、男女共同参画社会の実現に向けて、今、何が必要とされているのかをあらためて捉え直す機会となる講演会となりました。水無田気流さん



【6月】

男女共同参画推進月間記念講演会

『大切な人の「想い」とともに』

■講師：清水健さん（キャスター、『112日間のママ』著者）

男女共同参画推進月間記念事業として、キャスターで『112日間のママ』著者の清水健さんをお招きし、『大切な人の「想い」とともに』と題してお話いただきました。

妊娠中に乳がんが診断され、長男を出産した3カ月後に逝去された亡き妻・奈緒さんの「想い」を胸に、全国各地で精力的に講演活動を行いながら、シングルファーザーとして育児に励む清水さん。「今があるから今を生きる」「がまんしたらあかん」「誰もが一人じゃない」「正解は1つではない」・・・清水さんの多くの熱き言葉に、参加された多くの方々が胸を打たれ、それぞれに与えられた命の重みを感じずる講演会となりました。



清水健さん

【11月】

男女共同参画ネットワークセミナー実践講座

『男女共同参画の視点から考える防災対策ワークショップ』

■講師：小野康樹さん（南アルプス市社会福祉協議会）

地域の男女共同参画推進活動の実践に繋がる講座として、防災をテーマにワークショップを開催しました。

6～7月に発災した西日本豪雨災害などの被災地で、実際に支援活動に関わった南アルプス市社協の小野さんを講師に迎え、被災地支援活動における体験談などを語っていただくとともに、男女共同参画の視点を組み込んだ「クロスロード」という形式のワークショップを行いながら、被災地支援の問題点や対策等を学びました。

【1月】

ぴゅあ総合・峡南共催事業

チャレンジシンポジウム『私らしい働き方』

■基調講演講師：大戸洋子さん（DTPデザイナー/イベントプランナー/パン屋など）

■パネリスト：渡辺麻美さん（パンと焼き菓子のお店 asa-coya オーナー）、矢野梨奈さん（隠れ家菓子店 SugarLoop オーナー）、■コーディネーター：芦澤香さん（NPO 法人 bondplace 理事）

基調講演の大戸さんからは「身の丈を知り、自分の今できることを最大限やること。理想を追い求めず、こつこつ一歩ずつ進む」という内容のお話をいただき、パネルディスカッションでは、渡辺さん・矢野さんのそれぞれの起業ストーリーや想いを、コーディネーターの芦澤さんが巧みに引き出し、それを会場全体で共有することで、次につながる一歩となるような素敵な場を作ることができました。

参加された多くの方々の中には、これから起業を目指すという方も見受けられ、様々な意味で今後の指針となる貴重な機会となりました。



■ ぴゅあ峡南主催事業

【6月】

男女共同参画推進月間記念講演会

『プロ芸人の弟子修行から学ぶ男女共同参画～相手の気持ちを考え、思いやりを身につける～』

■講師：林家笑丸さん（落語家）

男女共同参画推進月間記念講演会として、落語家の林家笑丸さんをお招きしました。

林家笑丸さんは、上方落語界屈指の多芸な落語家で、「ウクレレ落語」、「後ろ紙切り」、「後ろ面」など数多くの芸があり、NHKの朝の連続テレビ小説『わろてんか』では、藤井隆さんに「後ろ面の踊り」の指導、松坂桃李さんに「太鼓と鉦（かね）の特殊奏法」の指導などをご担当され、またご本人自らも「落語家役」でご出演もされました。

この講演会でも噂にたがわぬ素晴らしい芸を披露。もちろん、落語家としてのおしゃべりも軽妙で男女共同参画についても、弟子修行時代のエピソードなどを軸に、フリップや小道具を使いながら、分かりやすく楽しいお話を展開され、笑いと歓声で会場も暖かい雰囲気になりました。



林家笑丸さん

【8月】

市町村との共催事業 講演会

『夫婦が互いに助け合える健康づくり』

■講師：金 信敬さん（健康科学大学教授）

南部町教育委員会（なんぶいきいき大学）との共催事業として、健康科学大学の金信敬先生をお招きし、東洋医学の観点から心身の健康を見直し、QOLを維持し、健康寿命を伸ばす方法などについて学びました。

全国的に見ても男性介護、老老介護の問題が注目を集めている中、高齢者自身の積極的な運動や、食事を通じての疾病予防もこれまで以上に注目されていますが、特に夫婦においては、まず自分の健康を自分で守ることで、いざという時お互いに助け合うことができます。

講演会の中では、金先生が自身の著書などでも普及に努めている「気らく運動」の一部を参加者みんなで実践したのですが、文字通り本当に“気楽に”できる簡単でやさしい運動でした。金先生の明るい性格も手伝って、講演会は終始和やかに進行しました。こんな感じで夫婦で楽しくお互いの健康増進を図ることができればいいですね。



金 信敬さん

【10月】

ぴゅあ峡南フェスティバル2018 記念講演会

『～あなたの物語、次のせりふは自分で決められます～
心をほぐすストレッチ。やわらかく生きてみませんか』

■講師：佐久間レイさん（声優 歌手 劇作家 作詞家）

講師の佐久間レイさんはその幅広い活動から様々な肩書きがありますが、やはり声優さんとしてその名前を聞くことが多いのではないのでしょうか。今回のぴゅあ峡南フェスティバルでは、「～あなたの物語、次のせりふは自分で決められます～心をほぐすストレッチ。やわらかく生きてみませんか」というテーマで、ご講演をいただきました。

佐久間さんは、現在27歳の娘を持つシングルマザーで、仕事や子育てを通しての様々な体験談から始まり、自分らしく輝いて生きていくためのヒントについて、私たちに優しく語りかけてくれました。

途中で、佐久間さんがこれまでに出演されたアニメ作品をスクリーンに映し出し、自身の役を演じつつ、その当時作品を通して思ったことやエピソードを披露。『それいけ！アンパンマン』のバタコさんや『魔女の宅急便』の黒猫ジジなどいろいろありましたが、中でもNHK・Eテレの『きょうの料理ビギナーズ』の高木ハツ江さんの声が佐久間さんだと分ると、ひと際大きな歓声がいやっぱりNHKってすごい…。

最後には、一人で世代の違うそれぞれの女性を演じ分ける朗読劇と素晴らしい歌。本当に素敵な歌声で、会場にいるすべての方が完全に魅了されてしまいました。

■ぴゅあ富士主催事業

【6月】

男女共同参画推進月間記念講演会

『女と男の人間学』

■講師：宮本まき子さん（家族問題評論家・エッセイスト）

男女共同参画推進月間記念講演会として、家族問題評論家でエッセイストの宮本まき子さんをお招きしました。

人間が生まれながらに持っている男女の発想の違いや日本女性の世代ごとに違う意識や価値観を分かりやすくお話しいただき、あらためて家庭や社会における男女共同参画を考える機会でした。



宮本まき子さん

【10月】

ぴゅあ富士フェスティバル2018 記念講演会

『男が介護ということ～ケアメン100万人時代の支援～』

■講師：津止正敏さん（立命館大学産業社会学部教授）

ぴゅあ富士フェスティバルの記念講演会として、立命館大学産業社会学部教授の津止正敏さんをお招きしました。

講演会では、介護者の3人に1人は男性が占め、男性介護者は、家事や介護のスキルを得る機会が乏しく、孤立化しがちであると指摘されました。女性だけに任せてきた介護問題のように思われていましたが、もはや女性だの男性だのと区別をして考える問題ではなく、介護は誰にでも訪れる問題で、男女問わず互いに介護できる仕組みづくりや仕事と介護の両立が必要であると締めくくりました。



津止正敏さん

【2月】

チャレンジシンポジウム

『時間や場所にとられない私の生き方』

■基調講演講師：木暮ゆうこさん（アクセサリークリエイター、数秘&カラー®上級トレーナー）

■パネリスト：中林あゆみさん（子ども着物作家）、相川葉子さん（eBay輸出転売） ■コーディネーター：木暮ゆうこさん

地域などにおいて活躍している女性の人材を発掘して、ロールモデルとして起用して、開催しました。

ライフイベント（結婚や出産など）を経験する中で、自分の好きなことをカタチにして、時間や場所を選ばない働き方や生き方をお話しいただき、女性が自分らしく社会や家庭において、様々なチャレンジのキッカケになりました。



一年間、ぴゅあ各館の事業にご参加いただき、ありがとうございました。31年度もよろしくお願ひいたします！